

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ： 0件(前月比 -, 前年比 -)でした。7月から著明に減少し、8月からは連続して発生は認めていません。今後は例年並みに冬期に増加すると推測されます。

小児科定点

(全体傾向)

報告数3,415件(前月比0.9、前年比1.3)でした。感染性胃腸炎942件と手足口病795件が大きく占めています。RSウイルス感染症が131件(前月比9.4、前年比6.0)と前月比、前年比とも、著明に増加してきており特に注意が必要です。感染性胃腸炎942件(前月比1.5、前年比1.1)で、例年通りに今後は冬期にかけて増加すると推測されます。手足口病795件(前月比0.6、前年比3.9)、ヘルパンギーナ321件(前月比0.6、前年比2.9)は両者とも7月をピークとして以後は減少してきています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症： 131件(前月比9.4、前年比6.0)と9月から著明に増加しています。例年比も6.0と高く、例年通り今後も増加していき、本年度は大流行する可能性が高いと推測され、特に注意が必要です。菊池(11.0)、熊本(3.6)が特に高いようです。
2. 咽頭結膜熱： 49件(前月比1.0、前年比0.4)と6月をピークとして8月までは連続して減少していますが、9月は(1.0)と変化はありません。前年比(0.4)と昨年よりは減少しています。
3. A群溶連菌咽頭炎： 136件(前月比1.1、前年比1.3)。6月から8月まで連続して減少しており、9月は前月比(1.1)と大きな変化はありません。例年よりやや多いようです。
4. 感染性胃腸炎： 942件(前月比1.5、前年比1.1)でした。8月は最小値でしたが、9月は前月比(1.5)と増加してきています。今後は例年通りに冬期に向けて増加していく可能性が高く、注意が必要です。人吉(57.0)、山鹿(36.0)、宇城(32.7)、有明(31.4)が特に高いようです。
5. 水痘： 116件(前月比0.8、前年比0.6)でした。6月までは例年より高い値で推移していましたが、6月をピークとして例年並みに連続して減少しています。前年比(0.6)と昨年より減少しました。
6. 手足口病： 795件(前月比0.6、前年比3.9)でした。本年度は7月をピークに大流行を認めましたが、以後は連続して減少しています。しかしながら、前年比(3.9)と未だに例年よりは高い値で推移しています。八代(39.8)、天草(36.0)が特に高いようです。
7. 伝染性紅斑： 33件(前月比1.3、前年比0.2)で6月をピークとして8月までは連続して減少しましたが、9月は大きな変化はありません。前年比(0.2)であり前年よりは著明に減少しています。

8. 突発性発しん： 217件（前月比0.9、前年比1.1）。例年と同様に推移しているようです。
9. 百日咳： 0件（前月比-、前年比-）でした。本年度は少ない値で推移しています。
10. ヘルパンギーナ： 321件（前月比0.6、前年比2.9）と7月をピークとして連続して減少しています。しかしながら、前年比（2.9）と本年度は依然として例年より高い値で推移しているようです。天草（27.5）が特に多いようです。
11. 流行性耳下腺炎： 372件（前月比1.2、前年比0.9）で前月比、前年比とも大きな変化はないようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告数1件（前月比1.0、前年同月-） 熊本からの報告です。
2. 流行性角結膜炎： 報告数91件（前月比1.5、前年同月1.3）と増加しています。地域別では、先月同様、菊池で多発しています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症：報告数72件（前月比1.3、前年比1.6）でした。前月比、前年比とも増加しています。男女別は、女性が52件と多く見られています。年齢別は、女性は20～29歳に36件と多く、男性では15～34歳に16件と多く見られています。地区別は、熊本が52件と圧倒的に多く、次いで、八代5件、山鹿、宇城に各4件、御船、有明に各3件、菊池1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数17件（前月比1.1、前年比1.4）でした。前月比、前年比とも増加しています。男女別は、女性が10件と多く見られました。年齢別は、女性で20～70歳以上と幅広く見られ、男性でも25～69歳と幅広く見られています。地区別は、熊本が13件と多く、次いで八代3件、有明1件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数は6件（前月比0.9、前年比3.0）で、前月比では僅かに減少していましたが、前年比では増加しています。男女別は、全て女性でした。年齢別は、女性では15～44歳に見られています。地区別は、熊本4件、御船、八代に各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数14件（前月比0.8、前年比0.9）でした。前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に12件と多く見られています。年齢別は、男性は20～39歳に10件と多く、女性では15～19歳、35～39歳に1件見られています。地区別は、熊本9件、次いで宇城3件、菊池、有明に各1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数78件（前月比0.95、前年同月比1.6）でした。42件（54%）が70歳以上でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数2件（前月比+2、前年同月比1.0）でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数0件（前月比-1、前年同月比±0）でした。
4. 多剤耐性アシネトバクター感染症：
報告数0件（前月比±0）でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比±0、前年同月比-2）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数5件（前月比5.0、前年同月比1.0）でした。
3. マイコプラズマ肺炎：
報告数17件（前月比1.5、前年同月比2.1）でした。場所は熊本が10件、人吉が4件、有明が3件でした。年齢は1～4歳が4件、5～9歳が6件、10～14歳が3件、15～19歳が2件、35～39歳が1件、65～69歳が1件でした。
4. クラミジア肺炎：報告数0件（前月比±0、前年同月比±0）でした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症： | 結核：28件 |
| 3類感染症： | 腸管出血性大腸菌感染症：3件
(O157: 3件) |
| 4類感染症： | 日本紅斑熱：8件
マラリア：2件 |
| 5類感染症（全数把握）： | アメーバ赤痢：2件
梅毒：2件 |